

たちばな

編集・発行

社会福祉法人 津久見市社会福祉協議会

津久見市中央町760番地133

TEL 82-5000 FAX 82-5003

地区社協の取り組みも

10年目に突入!



青江



中田



川上



千怒



あなたの周り変わらない?
気にかけて、目をかけ、声かけて

地域ぐるみで見守りを、みんなの暮らし、みんなで守ろう!



日見

川内



四浦3



畑



【地区社協活動の3つの柱】

1. 見守り・声かけ活動
2. 地域でのつながりづくり
(ふれあいいきいきサロン等)
3. 話し合い(情報共有等)

平成21年4月に青江区内で市内初の地区社協が設置されてから、今年で10年目を迎えました。これまでに、人口減少や高齢化の顕著な八戸区、四浦4区、四浦5区を除く全地区で地区社協が立ち上がり、区長、民生委員児童委員、介護予防推進員を中心に、それぞれの地域で独居高齢者等の見守りやふれあいいきいきサロン活動、地域の課題解決に向けた話し合いが行われています。

今後益々人口減少や少子高齢化が進むことが見込まれていますが、老いも若きも住民一丸となって、これからは誰もが安心して生活できる地域づくりを進めていきましょう。

平成30年度事業計画



事業内容

1 地区社協による地域での見守り・ 支え合い活動の推進

- ①地区社協の活動状況や課題の把握、さらに「つながりの輪」を地区へ広めるための意見交換会を開催します。
- ②地縁組織・団体だけではなく、あらゆる関係機関団体（医療・教育関係・福祉団体・ボランティア・行政関係等）が主催する会議や研修会の中で、地区社協の活動を理解していただくための説明を行います。
- ③区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の連携強化を図るための合同研修会を開催します。
- ④区役員・民生委員児童委員・介護予防推進員などを退任された方々が、引き続き、地区社協活動にご支援いただけるような仕組みづくりを地区社協ごとに進めていきます。

2 生活支援コーディネーターの設置

- ①高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備（地区社協活動や新たな福祉サービスなど）を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たすこととします。

3 地域福祉活動計画の策定

- ①住民や福祉活動を行う団体・関係機関等がお互いに協力して地域社会の生活課題等の解決に取り組むための指針となる計画の策定を行います。

4 津久見市社協のホームページ・ フェイスブックの開設

- ①多くの市民の皆さんが、地域福祉に対する理解を深められるように、地区社協、ボランティア・民生委員児童委員などの活動をホームページやフェイスブックを利用し積極的に発信していきます。

事業推進にあたって

平成29年9月17日に九州南部を襲った台風18号は、地域や周りの人々とのつながりや支え合いの大切さを改めて認識するきっかけとなりました。

災害後に各地域で実施された安否確認や避難誘導、近所での助け合い等は、まさしく地域で取り組まれていた日頃の自治活動や地区社協活動の賜であり、今後のまちづくりに多くの示唆を与えたといえます。災害の2日後に立ち上げた災害ボランティアセンターには、市民から、泥のかき出しや浸水した家財の撤去等多くの相談が寄せられ、市内外から駆け付けたたくさんのボランティアの協力を得て、その解決を図りましたが、人の絆や助け合いの大切さが再確認できた一方で、孤立や高齢化のもたらす地域の課題も顕在化しました。

このたびの災害や各種事業等を通し、顕在化する地域の福祉課題やニーズに対応するため、行政や多職種との連携を進めるとともに、子どもの時から近所や地域に関心を寄せる機会を増やし、支援を必要する人が孤立しないよう見守りをはじめとした地域の支え合い活動を推進します。

そして、防災・減災につながる日頃からお互いに助け合いのできるまちづくりに向け、今年度策定する第3期津久見市地域福祉活動計画にその重点目標と実施計画を定め、「だれもが安心して暮らせる福祉のまち」の実現に向けた取り組みを展開していきます。

重点項目

- ①隣近所での見守り・支え合いの輪を広げる
(地区社協活動に対する理解者を増やす)
- ②地域福祉活動計画の策定
(地域社会の生活課題等の解決に取り組むための計画)
- ③だれもが気軽に相談できる窓口
(24時間対応の総合相談窓口の充実)

- ④ふれあい電話事業を行います。
- ⑤成年後見制度の普及啓発を行います。

10 ふれあい交流事業の推進

- ①障がい者日帰りバス旅行を実施します。
- ②福祉施設と地域住民との交流事業を支援します。
- ③関係機関・団体・当事者等の主体的な活動を支援します。

11 災害に関する社協の役割

- ①災害時に助け合える地域づくりを進めるため、地区社協による小地域での見守り・支え合い活動を推進します。
- ②災害ボランティアの事前登録制度は、本会が設置する災害ボランティアセンターの運営や、被災者の救援及び生活再建支援のために活動していただける方を事前に登録し、災害時のボランティア活動が円滑に行えるよう、平常時から登録したボランティアの研修、情報交換等を行います。
- ③災害ボランティアネットワーク連絡会は、災害時における被災地の支援活動並びに災害ボランティアセンターの運営支援を積極的に行おうとする関係機関・団体等が相互に連携して効果的な活動が展開できるよう、情報交換と協力関係を築き、平時から顔の見える関係づくりを行い、災害支援活動が円滑に推進できるように進めてまいります。

12 自主財源の確保

- ①社協会費制度・共同募金運動（歳末たすけあい募金）の強化に取り組みます。
- ②自主財源が限られる中、新たな補助事業や委託事業の検討を行います。

13 その他事業

- ①広報紙「たちばな」を発行します。
- ②市社会福祉大会を開催します。
- ③ベンチ設置事業を実施します。
- ④福祉バスの運行を行います。
- ⑤関係団体への活動支援を行います。

5 「津久見市保健福祉ゾーン構想」の推進に伴う総合相談窓口の充実

- ①24時間・365日対応できる市民総合相談窓口の充実を図ります。
- ②定期的な生活相談（心配ごと）・専門相談（法律・年金など）の日を設けます。
- ③高齢者や障がい者の相談窓口を充実させるため、「地域包括支援センター」や「サポートセンター竹とんぼ」の事業活動を推進します。

6 市民ふれあい交流センターの運営

- ①地区社協やふれあいサロンの交流拠点として活用します。
- ②専門相談事業を推進します。
- ③ボランティアセンター機能の充実を図ります。
- ④福祉関係団体事業所・NPO・地域組織などの活動、交流拠点として活用します。

7 ボランティア活動の推進

- ①ボランティアセンターの充実に取り組みます。
- ②ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動を支援します。
- ③夏休みボランティア体験学習を開催します。
- ④ボランティア協力校（市内全校指定）の活動支援と意見交換を開催します。
- ⑤ふれあい出前講座による講師の派遣を行います。

8 機関・団体とのネットワークづくりの推進

- ①津久見市福祉施設・事業所連絡会を開催します。（参加施設事業所20）
- ②津久見市ボランティア連絡協議会の支援を行います。
- ③NPO・福祉施設団体・企業などとの意見交換会を行います。

9 在宅生活支援事業の推進

- ①日常生活自立支援事業を推進します。
- ②生活福祉資金貸付事業を推進します。
- ③福祉機器の貸出を行います。

社協収支予算書

収 入

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
会費収入	3,660	介護保険収入	9,300
寄付金収入	2,602	障がい者福祉サービス事業収入	3,916
市補助金	27,693	貸付事業収入	500
県社協補助金	23	負担金収入	1,847
市・県社協受託金	70,630	その他収入	955
事業収入	282	前年度繰越金収入	11,600
共同募金配分金収入	2,535	収 入 計	135,543

支 出

(単位：千円)

科 目	本年度予算額
事業運営費	102,258
事務費	6,412
貸付事業	530
共同募金配分事業費	2,535
各種助成金	6,355
退職共済預け金支出	5,033
その他支出	121
積立金支出	5,002
予備費	7,297
支 出 計	135,543

5
月

地区社協だより

2月から4月中旬に行われた各地区社協の活動等を紹介します。



各地区の総会

中田地区社協 3/31



千怒地区社協 4/4



川内地区社協 4/10



日見地区社協 4/11



新年度スタートにあたり、各地区社協で総会が開催されています。

高齢化がますます進む中、見守り活動やふれあいいきいきサロンの取り組みについて、昨年度の報告と今年度の計画、台風18号の際の反省等について話し合われました。

地区社協・青江 4/13



四浦3区社協 4/15



畑区地区社協 4/15



視察研修受入



3月6日、7日に鹿児島県始良市社会福祉協議会と同市重富校区コミュニティ協議会の方々が、津久見市での地区社協による見守り活動等を参考にしたいと来津されました。初日は、職員から事業説明、二日目は、川上区社協の役員と意見交換を行いました。



竹とんぼ通信

(お問い合わせ先)
サポートセンター竹とんぼ
電話82-1888
(24時間、土・日・祝日も電話相談可能です。)

イベントニュース

福祉フォーラムが行われました！



3月17日(土)津久見市民会館にて、「福祉フォーラムinけんなん」が行われました。当日は日本文理大学の学生(津久見高校卒)が津久見市で作成したショートフィルムや、ダウン症の女流書家 金澤翔子さんの映像が上映されました。上映後は、川野市長や小島教授(日本文理大学工学部情報メディア学科)などによるまちづくりを考えるトークが行われ、津久見市での福祉映画祭の開催など、明るい未来に繋がるような活発な意見交換が行われました。

今年もうばめ園祭に出店します!!



昨年の様子



日時：5月20日(日) 10:00～
場所：つくみん公園



竹とんぼは今年も風船の無料配布を行います！
遊びに来られる方は、ぜひお立ち寄りください☆

★ 精神障がいのある方へのバス運賃割引が始まりました ★

これまで知的障がいのある方や身体障がいのある方を対象に実施されていたバス運賃割引が、平成30年4月1日から、精神障がいのある方もその対象となりました。

【割引対象者】

精神障害者保健福祉手帳(1～3級)所持者本人、
または精神障害者保健福祉手帳(1級)所持者の介護人
※本人確認のため、精神障害者保健福祉手帳に写真の貼付が必要です。



【割引対象路線】

大分バスグループ(大分バス株式会社、大野竹田バス株式会社、臼津交通株式会社)、大分交通グループ(大分交通株式会社、国東観光バス株式会社、大交北部バス株式会社、玖珠観光バス株式会社)、亀の井バス株式会社、日田バス株式会社の運行する一般路線のバス、
空港バス、一部の高速バス(日田～福岡線)

【割引内容】

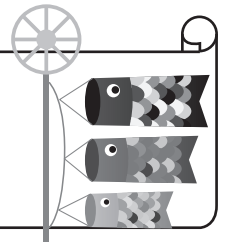
普通運賃5割引、定期券3割引
※詳細については、各バス会社にお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

大分バスグループ 097-532-7000
大分交通グループ 097-534-7455
亀の井バス株式会社 0977-25-1668
日田バス株式会社 0973-22-7105



こんにちは 地域包括支援センター社協です



あなたの町の寄りあい場



◆じじばばハウス◆ ～徳浦区～

廣瀬理容院横
第1・3水曜日
10時～15時

手作りの看板が目印

手作りの品物を
低価格で
販売しています。



「人が集まって
話すのは
楽しい!!」

「公民館まで歩くのが大変になった。」との声を聞き、「出かけられる場所を作ろう!」と地区の有志でオープンしました。

◆ホットハートカフェ◆ ～彦ノ内区～

手作り
スイーツと
飲み物で
おもてなし



当日は大盛況でした!



彦ノ内地区社協女性部が、「一度カフェを開いてみよう!」との話から3月18日オープンしました。次回の開催は未定です。

自分の地域に寄りあい場を作りたいと思っている方、どうしたら良いかわからない方、いつでもご相談下さい。

ようこそ! にじカフェへ

～おでかけ編～

3月29日春の陽気に誘われて青江ダムへお花見に行きました。青空と満開の桜のもとで楽しいひとときを過ごしました。



～今後の開催日～

* 5月15日 * 6月19日 * 7月17日

10:00～12:00

市民ふれあい交流センターにて

参加費 100円

お元気通信

No.29

回から入るもので 身体ができる

徳浦で生まれ育つ。家政女学校を卒業後の昭和19年に全寮制の看護学校へ入学する。昭和22年に助産科へ。昭和25年に徳浦で助産所を開業。26歳で結婚、3人の子を授かる。孫7人、曾孫5人おり、娘と孫2人が助産師として活躍している。青江に移転したのは昭和55年、最後にとりあげた子は平成元年生まれで30歳になる。毎年、学会のため県外へ出かける。現在も、産後の母子のケアを続けている。



助産師になりたての頃

★食事と睡眠と働くことが元気の秘訣★



今が一番
楽しい!

《プロフィール》

氏名 江藤 信子さん (90歳)
生年月日 昭和3年1月20日
住所 新町在住

いつまでも住み慣れた津久見で 笑顔で暮らしていくために

～今回は、「自助」について考えてみましょう♪～

「自助」とは、**自分で自分を助けること**です

たとえば…

- * 日頃から近隣の方とのつながりをつくりましょう
例) 近所の方に会った時は挨拶や声をかける、地区の行事やふれあいいきいきサロンに参加する
- * 元気なうちから積極的に活動しましょう
例) 新聞やニュースを見る、料理教室などの公民館活動や趣味活動に参加する、興味・関心のあることはやってみる
- * 健康管理を行いましょう
例) 体操教室に参加する、健診を受ける、体調が気になる時は受診する、かかりつけの病院を持つ、おくすり手帳を持つ
- * 自費のサービスを活用しましょう
例) 料理をするのがおっくうになった、免許を返すと買い物に行けなくなる、ペットの散歩や庭の手入れができなくなった、足や腰が悪く、一人で移動するのが不安だ

次回は、「互助」についてお話しします。



「自助・互助・共助・公助」からみた
地域包括ケアシステム

自費のサービスや通いの場については、いつでもご相談ください。

(お問い合わせ先) **地域包括支援センター社協** 電話82-4124
(24時間、土・日・祝日も電話相談できます)

5月 ふれあいいきいきサロン

2/16(金)桜ヶ瀬新町サロン



市の保健師・
管理栄養士
によるお話



体操



頭の体操で
たくさん笑って
いつまでも
若々しく元気。

3/16(金)堅浦(ひまわりの会)サロン



頭の体操

間違っこそ
笑って楽しい
頭の体操。



軽スポーツ
上位得点者

3/9(金)長目(長目)サロン



ディスコン優勝チーム

集まれば
いつも笑顔
いっぱい
サロンの仲間。

3/15(木)江の浦サロン



ディスコン



体操



毎回行う血圧測定。
ボランティアの方や
職員とも顔なじみで
楽しいおしゃべり
タイム。

新しいゲームのご紹介

ボールをスタートラインから
クラブで打撃し、ポケット台
の得点ポケットにボールを入
れて点数を競うゲーム。

2チームに分かれて交互に打撃
をおこない、10個のボールを全
て打ち終え、得点を集計し、勝
敗を決めます。



ポケットボール

通常は床の上で行うスポーツ
ですが車椅子の方や歩行が困
難な方はテーブルの上に置
き、手で転がしてゲームを行
うこともできます。

ボールはクラブで打っても手で
転がしてもOK。

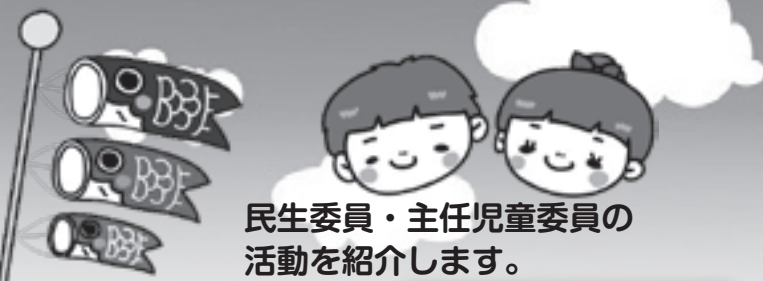
こんにちは 民児協です!!

千怒っ子わんぱくキッチン

2月3日、千怒小学校家庭科室で、夏に続いて2回目の「千怒っ子わんぱくキッチン」が開催されました。この日は、温かい豚汁での食事会で、PTA会長や保護者の参加もありました。

寒い中でしたが、体の中から温まる昼のひと時となりました。

※「千怒っ子わんぱくキッチン」は、大分県社会福祉協議会の「子ども支援活動推進事業」の助成を受けています。



民生委員・主任児童委員の活動を紹介します。

女性部会研修会



3月1日、市民ふれあい交流センターで女性部会研修会が開催されました。

今年度の取り組みを振り返り、認知症の方やその家族との関わり方について、次年度の活動の方向性を決定しました。

また、昨年9月の台風18号による水害時の対応について、情報交換を行いました。

主任児童委員部会

じゃん・けん・ぽんでの座談会

2月22日、“地域子育て支援センター じゃん・けん・ぽん”で、臨床心理士の米倉ゆかり先生をお招きしての座談会を開催しました。

子育て真っ最中のママさん達が抱える悩みや不安が解消され、ママさん同士が情報交換できる場となりました。



主任児童委員懇談会

2月28日、市民ふれあい交流センターで、主任児童委員懇談会が開催されました。

この日は、主任児童委員のほかに、“星の会（不登校を考える親の会）”や小学校の教諭、適応指導教室「ネロリ」の相談員が集い、ひきこもりへの対応や今後の活動の方向性などについて意見交換を行いました。



ボランティアだより！

ボランティア活動紹介

収集ボランティア鈴の会

毎月1回、古切手の収集、整理作業の活動をしています。

2月に保戸島中学校から古切手、書き損じハガキの寄付をいただきました。



つくり環境美化グループ

毎週2回、使用しなくなった衣服などの布生地を再利用して布草履やかばんなどを制作しています。

また市内小学校でしいたけの駒打ち体験やしいたけを使った料理教室を行っています。



1/27 千怒小にて
コマ打ち体験の様子

社会福祉協議会では随時ボランティアを募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

ふれあい出前講座紹介

いろいろな方に講師登録をしていただいています。旅費や講師謝礼は無料となっております。地域や各種団体等の研修などにもどうぞご利用ください。



『マジック』
上田 治美氏



『紙芝居（津久見民話）など』
図書館ボランティアたんぽぽ

ボランティア協力校

市内小・中・高校の全校を指定し、ボランティア活動などに取り組んでいただいています。30年度も引き続きよろしく申し上げます。

第二中学校の取り組み

2/14、薄田夕侑^{すずきた ゆう}さんを講師に招いて「障がいと福祉」について講話を行いました。

～生徒からの感想より～
『相手を思いやる気持ちが大切であり、思いやり次第で世界が変わるという話に共感しました。少しずつでも努力していこうと思いました。』

あたたかなご厚意ありがとうございました!!

平成30年1月1日から3月31日までの間に次の方々より、ご寄付をいただきました。

なお、金額未掲載（金一封表示）は寄付者の申し出によるものです。（敬称は略させていただきます）

香典返し寄付 平成30年1月1日から3月31日までの合計金額 590,000円（34件）

寄付者氏名	(故人)	住所	金額	寄付者氏名	(故人)	住所	金額
●甲斐隆徳	(良喜)	落ノ浦	金一封	●新田勝也	(貞子)	赤崎	金一封
●二色行信	(榮子)	入船西町	金一封	●亀井芙喜子	(利勝)	鳩浦	金一封
●河合賢一	(ヤスエ)	千怒	金一封	●吉田康子	(美代子)	門前町	金一封
●松田美鈴	(省一)	大友町	金一封	●竹尾重明	(礼子)	川内	金一封
●小松幸男	(ミサ子)	千怒	金一封	●祖田晃	(加代子)	彦ノ内	金一封
●山田喜久子	(征士郎)	堅浦	金一封	●田原学	(マツエ)	西ノ内	金一封
●三城明美	(樋口輝美)	白杵市	金一封	●梶野俊明	(勝代)	立花町	金一封
●麻生茂子	(細川俊子)	千怒	金一封	●橋本ひろみ	(学)	高洲町	金一封
●日野由美	(小手川敏彦)	大分市	金一封	●和田栄子	(スギ子)	千怒	金一封
●野下秀也	(チヨエ)	川内	金一封	●中村慎也	(友恵)	彦ノ内	金一封
●渡邊真二	(達男)	彦ノ内	金一封	●松下廣繁	(幸子)	千怒	金一封
●上野哲男	(繁人)	岩屋町	金一封	●西田清貴	(るみ子)	大友町	金一封
●酒井隆典	(ヨリ子)	岩屋町	金一封	●田島ヒロ子	(幸一)	保戸島	金一封
●吉川照人	(ヨネミ)	津久見浦	金一封	●日下敬典	(直)	彦ノ内	金一封
●齊藤清恵	(照也)	堅浦	金一封	●原岡健	(ミツ)	岩屋町	金一封
●板井治郎	(八千代)	セメント町	金一封	●吉良康成	(彌太彦)	川内	金一封
●安藤榮	(廣子)	千怒	金一封	●匿名			金一封

一般寄付 平成30年1月1日から3月31日までの合計金額 29,608円（5件）

- 津久見市母子寡婦福祉会 金一封
- 匿名（4件） 金一封

寄贈



寄付 H30.2.15（善意銀行預託物品）
贈 一般社団法人生命保険協会大分県協会

大分県社会福祉協議会善意銀行を通じて一般社団法人生命保険協会大分県協会より福祉巡回車両を寄贈していただきました。



寄付 H30.4.10
贈 津久見ロータリークラブ

津久見ロータリークラブから災害支援物品としてポスタープリンターを寄贈していただきました。

“つなぐ・広げる・地域の輪”
～市民の福祉活動や交流の場として～

市民ふれあい交流センター

専門相談カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6	7	8	9	10 司法書士	11 適応指導 教室	12
13	14	15 心配ごと (悩みごと)	16	17 弁護士会	18 適応指導 教室	19
20	21 行政 書士会	22	23 成年後見等 (バトン)	24 鳥越弁護士	25 適応指導 教室	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1 適応指導 教室	2
3	4	5	6	7 弁護士会	8 適応指導 教室	9
10	11	12	13	14 司法書士	15 適応指導 教室	16
17	18 行政 書士会	19 心配ごと (悩みごと)	20	21 弁護士会	22 適応指導 教室	23
24	25	26 年金相談	27 成年後見等 (バトン)	28 鳥越弁護士	29 適応指導 教室	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 弁護士会	6 適応指導 教室	7
8	9	10	11	12 司法書士	13 適応指導 教室	14
15	16 海の日	17 心配ごと (悩みごと)	18	19 弁護士会	20 適応指導 教室	21
22	23	24	25 成年後見等 (バトン)	26 鳥越弁護士	27 適応指導 教室	28
29	30	31				

毎月第3火曜日は 心配ごと相談の日です!

「どこに相談していいのかわからない?」「こんなことで相談に行ってもいいの?」等、日常のささいな心配や
困りごとにも民生委員が相談のつてくれます。
1人で悩むより、一度足を運んでみませんか?



〈申込み・お問い合わせ先〉

市民ふれあい交流センター (中央町760番地の54)
☎82-5611

赤い羽根共同募金地域助成事業の募集について



10月に実施する赤い羽根共同募金の一部から、地域福祉を推進する目的に事業を行うボランティアグループや地域団体(地区社協等)などに対し、来年度も助成を行います。
助成を受けようとするグループや団体につきましては、下記の通りお申し込みください。

- 【募集期間】 平成30年4月2日(月) から平成30年5月11日(金)
- 【助成金額】 1事業につき5万円以内(助成できない場合もあります)
- 【助成時期】 2019年6月予定(平成30年度の共同募金からの助成見込)
- 【申請手続】 津久見市共同募金委員会備え付けの申請書他必要書類を提出
- 【助成対象】 市内のボランティアグループ、自治会(地区社協)等
詳しい内容につきましては、お問い合わせください。
- 【問合せ先】 津久見市共同募金委員会(市社会福祉協議会内) (住所)中央町760番地133 (電話)82-5000

